

(財)女性のためのアジア平和国民基金

第86回理事会

平成18年3月

第86回 理事会議事録

1. 開催日時

2006年3月10日(金) 18:00-21:00 ルポール麹町

2. 定足数

理事現在総数は12名のうち、出席理事は9名、委任状による出席理事が2名で定足数は満たしている旨報告があった。

〔出席理事〕 村山富市理事長、石原信雄副理事長、大鷹淑子副理事長、
有馬眞喜子理事、植本真砂子理事、衛藤藩吉理事、
大沼保昭理事、金平輝子理事
和田春樹専務理事

〔委任状出席理事〕 古賀伸明理事、宮崎勇理事、

〔欠席理事〕 下村満子理事

〔運営審議会〕 高崎宗司委員長

〔監事〕 入山健之助監事

〔オブザーバー〕 内閣官房 山本文士事務官

外務省アジア大洋州局地域政策課 山田滝雄課長

同 丸尾伸一事務官

同 篠川志保事務官

〔事務局〕 峯岸良夫総務部長、岡 檀業務部長、
原田信一事務局員、佐藤榮子事務局員、渡邊事務局員
間伸智子事務局員 高江洲晴子事務局員
齊藤昭弘参与

3. 開会挨拶

理事長より開会の挨拶があった。

4. 理事会

(1) 議事署名人の選出

議長に一任となり、議長より有馬理事および衛藤理事が指名された。

(2) 事務局報告

① 新聞広告の中止について

新聞広告を出すべく準備して来たが、内容について委員内で意見がまとまらず中止することにしたとの報告があった。提案があり議題として取り上げることになり、新聞広告の実施は取りやめることが反対1で承認された。

② オーラルヒストリープロジェクトについて

オーラルヒストリープロジェクトで聞き取りをした結果が報告され200部ほど年度末までに印刷してはどうかとの提案があったが、話し手の意向を十

分確認する必要がある、論議の末、取り扱いについては慎重に検討することになった。

③ 2月18日開催された、シンポジウム「女性に対する暴力～暴力を未然に防ぐために」の報告がされた。

④ 国際会議（国連婦人の地位委員会）出席
岡部長から報告がなされた。

⑤ 韓国出張報告

原田事務局員より報告があった。問題については関係者一人より聞き取りが行なわれた。討議の結果8月に面接した関係者に再度接触をしてもらい事実関係の確認をしてもらうこと、その上でどうするか相談することが合意された。

⑥ AWFセミナー「慰安婦問題と日韓の和解」
3月18日開催する内容が紹介された。

⑦ 実施国往来事業

インドネシア事業については、和田、間仲、渡邊が3月末出張し、施設を視察する予定であること、韓国被害者訪問は3月末原田、柴田が出張する予定であることが報告された。

⑧ アフターケア問題は韓国と台湾の慰安婦のためのアフターケアについて小規模のNPOを立ち上げることを追求する。そこに基本財産を移譲することも考えられるとの暫定的な報告があった。

議題1 理事の退任について

理事長より下村理事から一身上の都合で退任したいとの申し出に対し、全員異議なく承認された。

議題2 平成18年度事業計画及び予算案

和田専務理事兼事務局長から平成18年度事業計画について説明がなされた。峯岸総務部長から予算案について説明がなされ、いずれも異議なく承認された。

議事録が正確なものであることを証するため、下記に署名押印する。

平成18年3月10日

議 長 （理事長）

議事録署名人（理事）

同 （理事）

林山 富雄
有馬 真喜子
衛藤 信吉